

あんなさま



Niimi University

2022 | <https://www.niimi-u.ac.jp>

【特集】 NIU 新見駅西サテライトオープン

Events and News

各学科での取り組み紹介

夢に向かって

活躍している学生たち

教員の活動紹介

教育支援センター長 高月教恵(健康保育学科 特任教授)

同窓会だより

お知らせ

大学院改組

大学バス紹介 ほか



地域住民と学生の活動拠点が完成しました!!



「NiU 新見駅西サテライト」への思い

学長 公文 裕巳

大学の街中キャンパス構想の一環として「NiU新見駅西サテライト」を学生居住施設“えきよこ”の1階にオープンしました。本サテライトは、新見市版地域共生社会の構築として大学の目指す目標である「健やかな子どもの発達、心の豊かさの向上、高齢者の健康寿命の延伸」のために、子どもを中心とする多世代交流広場として開設するものです。その活用法、内装デザイン、愛称については、学生を中心として、地域の方々と教職員とのワークショップを重ねて決定しました。最終的に、①発達支援センター「なごみ」：特別支援教育専門の教員を中心に医師や健康保育学科の学生などによる幼児期から青年前期の子どもと保護者への専門的支援、②子ども交流広場「ひだまり」：親子交流ひろば“にこたん”のスタッフ、教職員、市民ボランティアや学生による新しい形の多世代交流、③スタディラウンジ「ゆめラウ」：学びと食を介する大学生を中心とする多世代交流、高校生を含む学生たちの待合室や多目的集会室の3部門となっています。地域に開かれた協働施設であり、新見市や地域の方々からの支援を受けて、学生の地域交流の場であるとともに学修の場として発展することを期待しています。

新見駅から徒歩1分!

新見駅西学生居住施設“えきよこ”1階にあります!

スタディラウンジ

— ゆめラウ —

高校生や市民の皆さんの電車待ちや、友達とごはん、休憩、勉強スペースにも使うこともでき、気軽に集まれる場所となっています。そのほかにも、簡単な料理ができるキッチン※の利用や、自動販売機も設置しており、飲み物の種類も豊富です。
※キッチンを利用される際は、事前にご連絡ください。



子ども交流広場

— ひだまり —

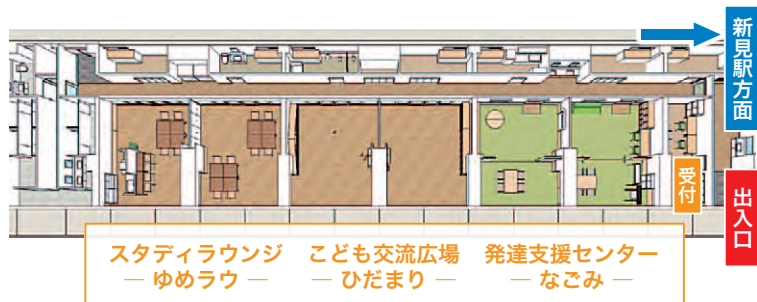
親子交流ひろば“にこたん”（予約制）の出張ひろば・一時預かりを開設しています。また、ストレッチ・ダンス講座NiU(ニウ)など、多世代が交流できるイベントも開催中です。



発達支援センター

— なごみ —

特別支援教育専門の教員を中心に医師や健康保育学科の学生がチームで子どもたちや保護者への支援を行っています。予約制で専門医、専門教員による相談も行っています。



各部屋の愛称を学生、教職員に募集。65点の中から3点が最優秀作品に選ばれました。

「なごみ」は、子育ての悩みなどを抱えた親子がこの部屋で相談を受けたあとに和やかな気持ちになれるように。「ひだまり」は、子どもたちが集まる場を通してさまざまな世代が温かい気持ちになれるように。「ゆめラウ」は、学生同士の会話や勉強の先には夢がある。スタディラウンジを夢と捉え名前がつけられました。

いつでもお立ち寄り下さい。イベントも充実

第1回トライアルイベント

4月17日、こども交流広場「ひだまり」では、学生たちが企画した「親子でボードゲーム」が開催されました。小学生と保護者20人と、学生・教員13人が4テーブルに分かれて様々なボードゲームを楽しみました。学生たちは、このイベントで「この場所



を知ってもらう」「名前を知らなくても、誰でもが楽しめる場にする」ことを達成目標に掲げていました。アンケートでは、「知らない子ともすぐなじめました」「子どもたちみんな大満足でした」という感想をいただくことができました。学生たちは、自分たちが考えた企画で、地域のみなさまの交流の場づくりに貢献できた喜びと達成感をかみしめていました。



第2回トライアルイベント

4月24日、スタディラウンジ「ゆめラウ」で、「むすびの場交流会～竹キャンドルに明かりを灯し、新見の歴史に思いを馳せよう」が開催されました。世代を問わない



20人の参加者、むすびの会メンバー17人、教員4人が参加し、新見の竹で竹キャンドルをつくり、中世新見庄の女性「たまがき」のお話を聞きました。参加者の方々からは「新見についてより詳しく知ることができた」「ものづくりが楽しかった」と好評の声をいただきました。今回のイベントは「むすびの会」が行い、会の目的である多世代交流の場になり、有意義なイベントになりました。



第3回トライアルイベント

子どもの日「元気な子プロジェクト」～親子でかしわもちとこいのぼりバックを作ろう！～

5月1日、市内の親子21人と学生13人が参加し、柏餅と牛乳パックを使ったこいのぼりバックを作りました。牛乳パックの搬入など家族に協力をいただいたり、柏餅は地域の中川初美さん、真治恵美子さん、大澤千鶴さんが先生となって、コツを教わりながら作ることができました。今後も学生と市民が協働で地域を盛り上げるエリアにしていきたいです。



イベント案内

こども交流広場

- にこたん出張広場
毎週木曜10:30～11:30(予約制)
- 一時預かり
毎週水、木曜 10:00～12:00
14:00～16:00(予約制・1日2時間まで)
- ストレッチ・ダンス講座NiU
月2回程度、土曜
11:00～11:50(事前申込み制)
- むすびの場交流会 など

発達支援センター

- 三宅進医師による相談室(予約制)
第2、4月曜日午後
- 岡本邦広先生による相談室(予約制)
随時受付

スタディラウンジ

- 市民公開講座
新見公立大学では、毎年さまざまなテーマで公開講座を企画し、広く市民の皆さんに学びの機会を提供しています。
今年度のテーマは「心と身体を整える健康講座」全4回の開講になります。



新見駅 市営駐車場
NIU新見駅西サテライト
観光案内
至国道180号

開館時間
10:00～21:00

休館日
12月29日～1月3日
NiU新見駅西サテライト
〒718-0017
岡山県新見市西方463-11
☎ 0867-72-0610

地域福祉学科

介護予防運動指導

地域生活を支えるために「介護予防運動指導員」養成を行っています。これは、高齢者に対し効果的な介護予防を推進することを目的とした資格で、本学では、4年次開講の2科目を受講し終講時の資格試験に合格することに加え、卒業時の国家試験（社会福祉士・介護福祉士）合格により、はじめて介護予防運動員資格を取得できます。

授業は新見市健康増進施設「げんき広場にいみ」の協力の下、学内と「げんき広場にいみ」を使って行っています。



げんき広場スタジオにて



マシントレーニングの指導も学びます

健康保育学科

健康保育学科2年次生 保育内容「環境」指導法 フィールドワーク (サツマイモの栽培)

子どもたちが体験を通して好奇心や探究心を高められるように、体験活動の指導力が高い保育者が求められています。

サツマイモの栽培指導は、新見市哲西町の農業者で以前に本学学務課で勤務していた^{たわ}塚さんがされています。学生たちは、自然豊かな新見の地で、親しみやすい農業者とともに楽しみながら作業をしています。自ら積極的にサツマイモ栽培や野外遊びに取り組むことで、楽しく参加できる体験活動の指導法を学んでいます。



サツマイモ用の畝作りの様子



イノシシ等の害獣よけテープを設置

看護学科

在宅看護実習 診療所での健康教室の実施

在宅看護実習では、地域で生活しているあらゆる健康段階にある対象者とその家族を理解し、健康生活の自立に向けた疾病の予防から健康の回復、あるいは安らかな死への援助といった幅広い看護活動を理解することを目的に地域の医療・福祉施設において実習を行っています。診療所実習では、地域の方に診療の待ち時間を利用し、健康教室を行っています。学生は、健康教室を通して指導の工夫や予防的視点の重要性を学び、看護活動の多様性を実感しています。



健康教室の様子

基礎ゼミナールCで高尾地区まち歩き

基礎ゼミナールCでは、大学から地域に出て様々な活動を行っており、そのひとつとして、高尾地区のまち歩きがあります。高尾地区を自分の足で歩き、目で見ることで、高尾地区の方々がどのように生活されてきたのかを学びます。また、活動の中で地域の方々とお話をさせていただき、高尾地区の特性や強みを知ることで、高尾地区の今後の生活課題などについて考える貴重な学びの場となっています。



高尾国司神社訪問と公民館での話し合い

にこたんでの活動 (リズム遊びだ！1・2・3♪)

にこた子育てカレッジ「にこたん」で毎月行われている「リズム遊びだ！1・2・3♪」に、健康保育学科の4年生が参加しています。「にこたん」には小さなお子さん連れられた保護者の方が来られるため、親子で一緒にできる手遊びや、3歳未満の子どもでも楽しめるパネルシアターやリトミックなどについて考える絶好の機会です。学生は子どもたちの様子や反応に合わせてその場で言葉掛けを変えたり、動きを大きくしたりするなどの工夫を行い、実践的な表現力を磨いています。



親子を前にしたパネルシアターの実演の様子

疫学調査・疫学演習

「疫学調査・疫学演習」（保健師教育課程開講科目）では、毎年、新見市内の住民を対象に疫学調査を実施しています。疫学調査の目的は二つあります。一つは、疫学調査の実施からデータの集計・分析、結果報告までの一連の過程を通じて、疫学的な知識や技能の修得・定着を図ること、もう一つは、地域住民の健康課題を明らかにし、その解決に資する資料を得ることです。地域によって健康課題は様々で、毎年、新たな発見と学びがあります。



調査の打ち合わせの様子

学修意見交換会

新入生が入学し、少し大学に慣れてきた5月に『看護学科 学修意見交換会』を開催しました。この会は、同学年の交流だけでなく他の学年との交流を通じて看護学について理解を深めることを目的としています。1~4年生が10人グループになり、学修の進め方、実習や国家試験に向けての準備、関心を持っていること、学修で困っていることなど意見交換をします。それぞれの学年が、少し先の将来のことを考えるいい機会になっています。



学修意見交換会の様子

地域福祉学科

社会福祉士実習指導者説明会

コミュニティ・ソーシャルワーク実習（本学の社会福祉士養成実習の科目名称）に先駆けて、実習先施設・機関の指導者と実習生とが面談を遠隔で行いました。

説明会では、実習先指導者に対して地域福祉学科の実習教育カリキュラムの概要と実習生の事前学習の状況等について説明が行われた後、指導者と実習生が対面して事前打ち合わせを実施しました。指導者から、実習先施設・機関として提供できる実習体験の情報をご提供頂きました。



実習カリキュラム説明の様子



遠隔での実習事前打ち合わせ

助産学専攻科

助産学実習

助産学専攻科では、女性の生涯を通じた健康および助産に関する高度な専門意識と実践力、地域社会の母子保健の発展に貢献できる豊かな人間性と高い倫理観を身に付けた助産師を育成することを目的としています。看護基礎教育において大学が所在する中山間地域の人々との交流や地域の特性にふれ、人間愛と幅広いコミュニケーション能力を備えた学生が、総合周産期母子医療センターから助産所まで様々な機能を持つ施設で実習を行っています。連携病院の医師や助産師から最新の医療や助産技術を学び、臨地でその実際を習得し実践力を高め、卒業後はそれぞれの地域で活躍しています。



沐浴演習の様子

健康保育学科

基礎ゼミナールBでの取り組み

基礎ゼミナールBは1年生対象の科目で、大学生としての学修基盤づくりを目的としています。その一環として、各グループが興味を持った保育・就学前教育をとりまく現象・課題等について調査し、発表する機会を設けています。

この活動の中で、学生は主体的に保育や子育て支援について探求しながら、大学生として求められる「読む」「書く」「話す」「聞く」能力を身につけていきます。こうした力量を備えた学生たちが将来、地域での専門人材として活躍していくことを期待しています。



発表会の様子



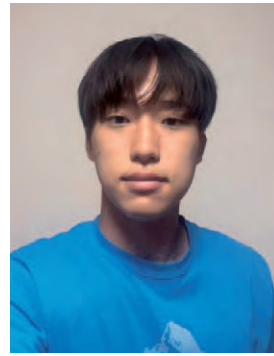
ゼミでの学修の様子



第77回国民体育大会冬季大会出場

笠井 康平 (看護学科2年)

私は福井県大野市出身でスキーを5歳くらいで初めて行い、競技スキーは小学5年生から本格的に始めました。それから中高と続け、高校1年で国体、2年の時にインターハイと国体に出場することができました。今回は3回目の出場でしたが途中棄権となり残念な結果に終わりました。大学でスキーをする上で、一番大変だったことは自分の車で運転してスキー場に行ったり宿や練習先を自分で全て手配しなければならなかったことです。しかし、国体に出場するにあたり岡山県



スキー連盟をはじめ、大学の先生方、両親など多くの方が自分を助けてくれて本当に感謝しています。この感謝の気持ちを常に持ってこれからの大学生活を過ごしていきたいです。

夢に向かって



西日本軟式野球大会出場

軟式野球部 主将

宇多 悠也 (地域福祉学科3年)

今回出させていただいた西日本軟式野球大会はセカンドステージ(株)さんの主催で行われました。そこで、中四国ブロック予選を勝ち抜いたことで大阪で行われる本選に進出できました。

予選では、地域福祉学科1年高坂が力のある速球を軸に相手打線を抑え、打線は積極的な走塁と思い切りのある打撃で得点を重ね勝利を掴みました。本選では、打線がつながり地域福祉学科4年市本の本塁打も飛び出し7得点と奮起しましたが、長打力のある相手打線を抑え切れず悔しい敗戦となりました。

日頃は週一回練習をしており、課題のある守備を中心に練習に励んでいます。初心者が多いのですが野球を楽しめる環境を作り、勝利を目指しています。今後は、セカンドステージの大会で上位進出、新見市内の大会で優勝を目標に頑張っていきます。

私たちが野球をできているのは大学の職員や地域の方に支えられているからだと感じているので、野球ができる喜びと感謝の気持ちを持って活動していきます。



「市大連携」を核にした中山間地域における 保育実践力の向上をめざして



教育支援センター長 高月 教恵（健康保育学科 特任教授）

新見公立大学は新見市との連携の中で、大学の専門性を発揮した地域課題への取り組みを行っています。こうした「市大連携」の中で、主に就学前の子どもに関連することを担当しているのが学内にある教育支援センターです。教育支援センターは、学内外の関係諸機関との連携を図り、教育に関する理論的・実践的な教育研究を行い、教員及び保育士養成に資するとともに、学校、家庭及び地域社会と協力し、子どもの成長に係る問題の解決に寄与することを目的にしています。

具体的には、6つの業務（①教育に関する理論的及び実践的な教育研究、②幼稚園実習、保育実習（保育所・施設）、特別支援教育実習及び養護教諭教育実習に関する指導及び支援、③実地体験活動に関する指導及び支援、④気になる子どもに関する相談及び支援、⑤学校教育・家庭教育・子育て等に関わる相談及び支援、⑥その他センターの目的を達成するために必要な業務）を行っています。

これらの中から、今回は「市大連携」をキーワードに2つの取り組みをご紹介します。



教育支援センターと学生指導の様子

1

新見市内の園での実地体験実習 （インターンシップ）

健康保育学科では、教育支援センターを拠点に新見市の全ての保育施設と連携し、保育士や幼稚園教諭免許状に関わる実習のほか、保育現場での活動に補助的、継続的に関わる実地体験実習（インターンシップ）を行っています。学生はこの実習を通して子ども理解を深め、保育実践力をより一層高めていきます。



市内の園での実地体験実習の様子

2

保育現場の先生方への研修機会の提供

センターの教育研究の一つに、新見市保育・教育カリキュラム研修会があります。2022年度は、新見市内の全園の保育者が初めて担当年齢別に大学に集まり、遊びの環境を園ごとに発表し、豊かな環境構成のために何が必要かを検討しました。このように理論と実践を融合させながら、質の高い保育を目指して大学と地域が連携しています。



新見市保育・教育カリキュラム3歳児部会の様子

このように、教育支援センターでは、市大連携を中軸に据えた中山間地域における保育実践力の向上を図り、全ての子どもたちの幸せを目指しています。

同窓会 だより

同窓生の近況を
報告します。

同窓会開催のお手伝いをします

昨今の情勢により、同窓会を開催するのが難しいご時勢ではございますが、感染が落ち着き、開催される際は大学がそのお手伝いさせていただきます。

学部・学科と卒業年度及び開催時期などを本学学生課へお知らせいただければ、同窓会の案内を発送し、出欠を取りまとめ、同窓会幹事へ連絡をします。同窓会を企画されている幹事の皆様、ぜひご連絡をください。



卒業生近況報告



哲西町診療所勤務

桑原 ひとみ (旧姓: 真辺)

(新見公立短期大学看護学科19期生 大学院看護学研究科5期生)

大学院を修了して

在 学中は、仕事と家庭、学業の両立は厳しく感じましたが、同僚や家族、友人、先生方に励まされながら乗り越えたことを思い出します。授業や研究に取り組む際に、自分の看護を振り返り、先生や仲間と語り合うことで、ずっと働き続けている診療所看護師への思いを深めることができました。

これからも地域に根ざした診療所看護師として、住民の方々が大好きな地域で笑顔で生き生きと暮らし続けることができるよう関わり続けていきたいと思っています。



ひまわりケアステーション勤務

佐藤 知絵 (旧姓: 福山)

(新見女子短期大学地域福祉学科2期生)

短 大卒業後、知的障害者施設で働いていましたが、出産後専業主婦となり、3人の子どもに振り回されながらも充実した毎日を過ごしてきました。

末っ子が中学生になったこともあり、16年ぶりにまた知的障害者の施設で働かせてもらっています。あまりのブランクで、法律や世の中の変化に戸惑いながらも利用者の方に助けられながらがんばっています。

子どもが生まれてからは、子どもがいることで広がる世界だけで過ごしてきましたが、これからはちょっとずつ自分の世界を広げていきたいなあと思っています。

健康保育学科

北海道	北海道	1
関東	埼玉県	1
	千葉県	1
	石川県	2
中部	福井県	8
	長野県	5
	岐阜県	1
	静岡県	4
	愛知県	3
	三重県	2
近畿	京都府	3
	大阪府	1
	兵庫県	24
	和歌山県	1
	鳥取県	14
中国	島根県	10
	岡山県	60
	広島県	12
	山口県	3
四国	徳島県	7
	愛媛県	22
	高知県	1
九州	福岡県	1
	佐賀県	2
	長崎県	6
	熊本県	2
	大分県	5
	宮崎県	5
	鹿児島県	2
	総計	209

看護学科

北海道	北海道	3
関東	茨城県	1
	千葉県	1
	富山県	1
中部	福井県	2
	長野県	2
	岐阜県	1
	静岡県	3
	愛知県	1
	滋賀県	1
近畿	京都府	2
	大阪府	6
	兵庫県	50
	和歌山県	4
	鳥取県	24
中国	島根県	19
	岡山県	88
	広島県	43
	山口県	14
四国	徳島県	10
	香川県	6
	愛媛県	25
九州	高知県	3
	福岡県	1
	佐賀県	3
	長崎県	10
	熊本県	3
	大分県	3
	宮崎県	1
	鹿児島県	3
	沖縄県	1
総計	335	

地域福祉学科

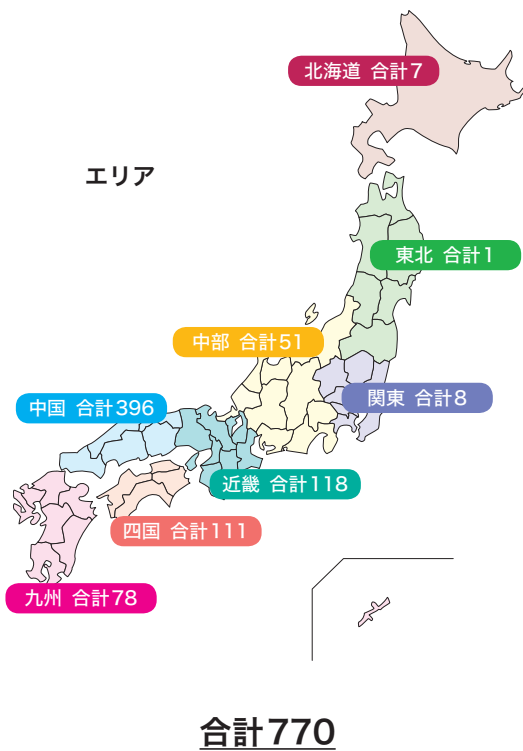
北海道	北海道	2
東北	福島県	1
	茨城県	2
	群馬県	2
中部	新潟県	1
	富山県	1
	石川県	3
	福井県	1
	山梨県	1
	長野県	1
	岐阜県	1
	静岡県	1
	愛知県	8
	三重県	1
近畿	京都府	4
	大阪府	1
	兵庫県	14
	奈良県	1
中国	和歌山県	3
	鳥取県	12
	島根県	14
	岡山県	50
	広島県	16
	山口県	4
四国	徳島県	5
	香川県	9
	愛媛県	22
	高知県	1
	福岡県	6
九州	長崎県	6
	熊本県	2
	大分県	4
	宮崎県	5
	鹿児島県	7
	総計	212

助産学専攻科

北海道	北海道	1
中国	岡山県	5
総計		6

大学院

中国	岡山県	8
総計		8



人事異動

ごくろうさま

【退職】

看護学科	助教	多田 めぐみ
看護学科	助手	津曲 真弥
総務課	次長	石橋 博

【転出】

学生課	主任	岡本 侑記
教務課	課長補佐	林 良之
教務課	主事	吉尾 大輝

どうぞよろしく

【新採用】

健康保育学科	教授	岡本 邦広
保健管理センター	主幹	河田 恵子
看護学科	助教	井上 竹美
看護学科	助教	西森 千恵
総務課	主査	眞治 章

【転入】

総務課	課長	難波 俊介
学生課	課長	吉川 国夫
教務課	主査	嶋田 秀樹
教務課	主事	近藤 七海

【昇任】

健康保育学科	准教授	本渡 葵
健康保育学科	講師	高橋 彩
看護学科	教授	礪本 暁子
看護学科	教授	塩見 和子
看護学科	講師	長崎 恵美子
看護学科	助教	難波 香
看護学科	助教	西村 美紗希
看護学科	助教	大島 由美
地域福祉学科	教授	三上 ゆみ
地域福祉学科	教授	井上 信次
地域福祉学科	教授	鄭 丞媛

新任教員からご挨拶



岡本 邦広 先生

健康保育学科

専門は、特別支援教育です。キーワードは行動問題、協働的アプローチ、FQOLです。抱負は、特別支援教育の視点をもった支援者養成ならびに、発達支援センター(なごみ)充実です。



井上 竹美 先生

看護学科

この4月に入職しました。所属は基礎看護学領域です。

看護の楽しさを皆さんにお伝えできればと思っています。よろしくお願いいたします。



西森 千恵 先生

看護学科

基礎看護学の助教として着任しました。新入へ越して間もないですが、自然豊かな地で鶯や蝉の声を聴き、学生とともに日々成長していく所存です。よろしくお願いいたします。

2023年4月入学 大学院生募集を開始します！ 2023年度地域福祉学専攻修士課程と看護学専攻博士後期課程を開設

(本学大学院健康科学研究科 改組計画 認可)

2022年8月31日、本学大学院健康科学研究科地域福祉学専攻（修士課程）、看護学専攻（博士後期課程）が文部科学省から認可されました。

■2023年4月 新 健康科学研究科

博士前期課程／修士課程	
看護学専攻 ○学位：修士（看護学） ○入学定員：4名	地域福祉学専攻（新設） ○学位：修士（地域福祉学） ○入学定員：4名
博士後期課程	
看護学専攻（新設） ○学位：博士（看護学） ○入学定員：2名	

出願をする前に必ず指導を希望する教員との面談が必要です。また受験時に配慮が必要な場合や個別の入学資格審査が必要な場合は、出願前に手続きが必要です。詳細は本学ホームページをご確認ください。

■入学者選抜日程

	I 期			II 期			
	指導を希望する教員との面談	出願期間	試験日	指導を希望する教員との面談	出願期間	試験日	試験科目
看護学専攻 (博士前期課程)	～2022年 8月22日(月) [終了]	2022年 9月5日(月) ～2022年 9月12日(月) [終了]	2022年 9月24日(土) [終了]	～2023年 1月17日(火)	2023年 1月31日(火) ～2023年 2月7日(火)	2023年 2月18日(土)	専門科目 (小論文)、 英語、面接
地域福祉学専攻 (修士課程)	～2022年 9月26日(月) [終了]	2022年 10月11日(火) ～2022年 10月17日(月)	2022年 10月29日(土)				専門科目 ※1 または 小論文 ※2 面接
看護学専攻 (博士後期課程)	～2022年 10月24日(月)	2022年 11月14日(月) ～2022年 11月21日(月)	2022年 12月3日(土)				専門科目 (小論文)、 英語、面接 (口述試験)

注意) II期については、I期日程で定員を満たさなかった場合にのみ実施します。
実施する場合、看護学専攻（博士前期課程）は、2022年10月28日(金)以降
地域福祉学専攻（修士課程）は、2022年11月25日(金)以降
看護学専攻（博士後期課程）は、2023年1月6日(金)以降

※1 専門科目は一般入試で実施
※2 小論文は社会人入試で実施

に本学ホームページ上でお知らせします。

新見公立大学大学院改組の認可に係る記者発表をおこないました

- 日 時：令和4年9月14日(水) 午後2時～
- 場 所：新見公立大学本館会議室B
- 出席者

【新見公立大学】

公文裕巳 学長（理事長）、小田 慈 副学長（理事）、
田枝修己 事務局長（理事）、斎藤健司 学生部長（理事）、
大学院改組部会看護学専攻担当 矢庭さゆり 教授、
大学院改組部会地域福祉学専攻担当 井上信次 教授

【新見市】戎 斉 市長

【新見市議会】石田 實 議長





編集
後記

新見公立大学の健康科学部の健康保育と地域福祉学科が4年制になり、完成年度を迎え在学学生数は770人となりました。新見駅の西側にはその名の通り「えきよこ」という100人の学生が収容できるアパートが完成し、その1階は、新見市より委託を受けた地域交流スペースがOPENしました。電車の待ち時間を過ごす場所や、気軽に立ち寄れる場が誕生しました。土日も開いていますので、ブラっとお寄りください。

短期大学時代には400人弱だった学生数が増えたことにより、市内にも新しいアパートが建築され学生を迎えてくださっています。4年間を新見市で過ごす学生は新見市の関係人口です。在学時代だけでなく、卒業後も何らかの形で新見市に元気をいただけるそんな仲間が増えてくれることは大変貴重です。

さらに、令和4年度8月31日付で看護学専攻博士後期課程及び地域福祉学専攻修士課程の認可が文部科学省より下り、大学院の受け入れも看護学修士課程だけであった専攻の学びの幅が広がりました。学部生の進学だけでなく、社会人として学びたい方をお待ちしています。42年を迎える新見の大学の歴史とともに、少しずつ成長していく大学を今後ともどうぞご支援ください。

新見女子短期大学の創設準備室から関わって頂いた看護学科初代学科長の丸川和子先生が令和4年4月26日に逝去されました(享年93歳)。ご生前のご厚情に深く感謝するとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。(三上)

発刊

新見公立大学

〒718-8585 岡山県新見市西方1263-2

TEL.0867-72-0634

FAX.0867-72-1492

URL: <https://www.niimi-u.ac.jp/>



編集

広報委員会

広報部長

三上 ゆみ

広報委員(50音順)

安藤 亮 石田真裕子 磯本 暁子
入江 慶太 高杉 公人 高橋 彩
長崎恵美子 柳迫 三寛 山内 圭
山根 智幸

短期大学幼児教育学科卒業生のみなさん 「あなたの教員免許、復活します！」

令和4年7月1日に教員免許更新制が廃止されました。

卒業生のみなさんが持たれている幼稚園教諭免許状に関しても、以下のような扱いになります。

- 休眠中の免許は令和4年7月1日に自動的に復活します。手続きや更新講習の必要はありません。
*休眠中の免許とは、更新制度導入前(H21.3.31以前)に授与された旧免許状を持ち、更新申請をしていない人の免許状のことです。
 - 失効している免許は授与申請をすることで再び免許状を取得できます。更新講習の必要はありません。
*失効している免許とは、更新制度導入後(H21.4.1以降)に授与された新免許状を持ち、更新申請をしていない人の免許状のことです。
- 詳細は文部科学省HPをご確認ください。

みなさんの教員免許を生かしませんか？

NiU新見公立大学バスが活躍しています！

2021年より新見公立大学にバスを導入し授業や学外活動、学生のボランティア活動の移動に活用しております。地域に出向き活動をしたくても交通の便が悪く、参加できないという問題が解消され、飛躍的に学生活動の範囲が広がりました。また、オープンキャンパスや本学の入学試験の際にもバスを運行し、新見駅までの来校者送迎を行っております。

デザインは、大学バスデザインコンテストにおいて、「最優秀賞」を受賞した看護学科1年生(当時)の杉原穂乃花さんの原案をもとに、杉原さんと審査委員が協議を重ね、作成、完成しました。

新見公立大学のシンボルであるロゴマークが大胆にデフォルメされたデザインには、学生の皆さんが充実した学生生活を送り、「夢」に向かって飛翔する願いが込められています。



おめでとう

新見公立大学
助産学専攻科

第105回 助産師国家試験

合格率100%達成!

おめでとう

新見公立大学
看護学科

第111回 看護師国家試験
第108回 保健師国家試験

2018年入学・9期生

合格率100%達成!